



2023年度3月号

# あひるぐみだより

社会福祉法人 尚徳福社会 生麦保育園



寒さの中にも少しずつ春の暖かい日差しが感じられるようになってきました。4月に入園し大好きな保護者の方と離れて泣いていた子どもたちでしたが今では毎日元気に登園し自分のことを自分でやってみようとする姿が多くみられるように成長を感じ嬉しく思います。あひる組での生活も早いもので残り1か月。子どもたちと一緒に過ごす時間を大切に、楽しく元気に過ごしていきたいと思ひます。

## 子どもの様子

音楽が好きで、「やさいのうた」「幸せなら手をたたこう」の音楽が聞こえてくると、口ずさんだり、手を叩いたりしています。ほっぺをツツツする姿やウインクをしてみようとする様子は、とても可愛らしく癒されます。また園庭に行くと異年齢の友だちと遊ぶ様子も多く見られるようになりました。自分から声を掛けてみようとして顔を見、声を掛けてもらおうとニコニコの笑顔で一緒に遊んでいます。これからも異年齢との交流を大切にしていきたいと思ひます。友だちと同じ遊びを共有したくて「どうぞ」と声を掛けてごっこ遊びをすることも増えてきました。その際、うまく言葉が伝わらずトラブルになってしまうこともありますが、保育者が間に入り互いの話を聞き一緒に遊べるような環境を作っています。自分の言葉で上手に伝えられるように見守りながら楽しく遊べるようにしていきたいと思ひます。



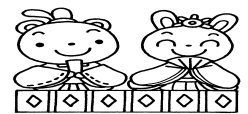
## 給食

4月は手づかみで食べたり保育者に提供してもらったりしていましたが、少しずつ自分で食べたいという意欲が出てきて最近では、スプーンで食べられるようになりました。苦手だった野菜にも手をつけてみるようになり美味しいと「おかわり！」とお皿を保育者に見せています。果物が大好きなあひる組さんはおかわりがなくなると怒ってしまう時もありますがその様子も微笑ましく思っています。りす組に向けてフォークの練習も少しずつ始めています。



## ～ひなまつり～

制作で一回折に挑戦しました。折り紙を半分に折る際保育者の折り方を見て真似をしている姿には成長を感じました。折るのが楽しくなり三回程折る様子もありました。黒のシールで目を貼り赤いクレヨンで口を描きました。いろいろな顔をしたお雛様、お内裏様ができ個性豊かな制作をすることができました。



1年間沢山のご協力  
ありがとうございました。